

中田 石ノ森章太郎メモリアルデー



▲仮面ライダーXの主演が決まった時の喜びなどを語る速水さん(右)

Xライダーがやってきた

1月26日、石ノ森章太郎ふるさと記念館友の会(小野寺裕幸会長)主催による「石ノ森章太郎メモリアルデー」が開催されました。メモリアルデーは、石ノ森先生の誕生日(1月25日)と命日(1月28日)が1月であることから毎年1月の最終日曜日に記念館で開催されています。当日は、マンガ教室や餅つき体験などのイベントのほか、仮面ライダーX(エックス)を演じた俳優の速水亮さんと漫画家の村枝賢一先生のトーク&サイン会も開催。速水さんは「スターの道が開けたと思ううれしかった」など、主演に抜てきされた当時の喜びを話していました。

迫 日野薫さん作品パネル寄贈



▲作品制作の経緯や思いを布施市長へ話す日野さん(右)

ふるさとへの思い作品に

迫町佐沼出身で書家・デザイナーの日野薫さん(仙台市在住)から、市に作品が寄贈されました。「登米市」と題した作品は、日野さんがイメージするふるさとが、これからのこうあってほしいという思いを表現したものです。迫町で看板店を営む熊谷圭太さんが協力しパネル化しました。日野さんの作品は、多くの皆さんにご覧いただけるよう市役所迫庁舎ロビーに展示。1月20日に市役所を訪れた日野さんは、展示された大型パネルを見ながら、布施孝尚市長に作品へ込めた思いなどを話していました。

白銀の世界で交流深める

ときめきキッズクラブ会員の交流を深めることを目的とした「そり遊び・スキー教室」が2月8日、大崎市鳴子温泉のオニコウベスキー場で開催。ときめきキッズクラブやジュニアリーダー会員、講師の総勢43人が参加しました。雪が降りしきるゲレンデでは、町内のスキー愛好者を講師にスキーの基礎指導を受けたり、そり専用広場で思い切り遊んだり、子どもたちは2班に分かれて雪山を満喫していました。昼食時には、おいしい料理を囲みながら、そり遊びやスキーの話で大いに盛り上がり、交流を深めていました。

そり遊び・スキー教室開催



▲ゲレンデでみんなそろって記念撮影

豊里

交通安全に努め継続誓う

平成9年8月から交通死亡事故が発生していない葛籠淵地区では、平成25年12月18日をもって交通死亡事故ゼロ6000日を達成。12月19日、登米総合支所で交通安全対策協議会(布施孝尚会長)から葛籠淵地区コミュニティ推進協議会(佐藤武夫会長)へ表彰状が贈られました。賞状を受け取った佐藤会長は「交通死亡事故ゼロ6000日の達成は地域全員で成し遂げられたもの。さつそく地域に報告して喜びを分かち合い、今後も記録を継続していくよう交通安全に努めたい」と決意を新たにしていました。

死亡事故ゼロ6000日を達成

登米



▲地区を代表して表彰状を受け取る佐藤協議会長(左)

米山 新婚さんのお祝い会を開催



▲レクリエーションなどを通じて新婚さん同士の交流を深めました

地域みんなで盛大に祝福

恒例行事となっている「新婚さんお祝い会」が2月2日、中津山公民館で開催されました。この行事は、米山町域で前年中に結婚した夫婦を招待し、地域の人たちと交流をしながら盛大に祝福しようと毎年開催しています。今年は3組の新婚さんが参加。迫町出身の千葉和彦さんによるミニライブや新婚ラブゲーム、カラオケなどで盛り上がりました。参加した新婚の一人、佐々木亜里華さん(迫土地)は「迫町から嫁いできました。親切で優しい人たちがばかりで、すぐに地域に解け込むことができました」と笑顔で話していました。

東和 地区文化財防火訓練を実施



▲消火器による初期消火訓練。被害を最小限に食い止めます

火災から不老仙館を守る

文化財防火訓練が1月26日、「不老仙館(米谷)」を会場に開催。地域住民をはじめ自主防災組織や消防団員、消防後援会員、婦人防火クラブ員など約140人が参加しました。この日の訓練は、館内の庭園から火災が発生したことを想定。始めに通報や非常持ち出しなど、火災に連動した訓練を実施。その後、バケツリレーや消火器による初期消火、消防団員による火災防ぎょ訓練を行いました。参加者は、大切な文化財を火災から守るため真剣に取り組み、日頃の訓練の重要性を再認識していました。